

## 原料費調整制度に基づく2023年3月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1㎡あたりの単価)で毎月調整します。なお、激変緩和対策期間のため、政府の支援による30円/㎡(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2022年10月から2022年12月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映		
			→			反映	
			→				反映

○2023年3月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1㎡あたり)	
			2023年2月検針分	2023年3月検針分
料金表 A	0㎡から11㎡まで	786.50円	247.28円	238.86円
料金表 B	11㎡超～115㎡まで	891.00円	237.81円	229.39円
料金表 C	115㎡超～	1,961.30円	228.49円	220.07円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2022年10月から2022年12月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	141,670円/トン(10円未満四捨五入)
2022年10月から2022年12月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	92,810円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $141,670円/トン \times 0.9711$ $+ 92,810円/トン \times 0.0460$	<b>141,840円/トン</b> (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	$141,840円 - 54,690円 = 87,100円/トン$ (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1㎡あたりの価格変動額	0.075円
<b>ガス料金激変緩和対策事業による支援単価(1㎡あたり)*</b>	<b>-30円(税込)</b>
2023年3月分検針の調整額(1㎡あたり)	$87,100円 \times 0.075円 \div 100 \times 1.10 = 71.85円$ (小数点第3位切り捨て) $71.85円 - 30円 = 41.85円(税込)$
2023年2月分検針の調整額(1㎡あたり)	50.27円(税込)
(3月分)対(2月分)増減(1㎡あたり)	<b>-8.42円(税込)</b>

2023年3月分の単位料金を1㎡あたり +41.85円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2023年2月分料金	2023年3月分料金	影響額
20㎡	5,647円	5,478円	-169円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。  
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)